

小規模多機能型居宅介護まこと 運営推進会議議事録

平成 28 年 7 月 20 日 (水)

14 時～15 時

小規模多機能型居宅介護まこと 2 階

司会 西崎・柴田

書記 石井

参加者

- ・荒谷 トキ様 (町内会婦人部)
- ・高橋 しのぶ様 (包括支援センター職員)
- ・山田 清典様 (釧路ケアカレッジ 校長)
- ・西村 ミヨイ様 (民生委員)
- ・登藤 好夫様 (GH 利用者家族)
- ・木田 孝志様 (小規模 利用者家族)

1 挨拶

2 運営推進会議とは

3 事業運営報告

- ・ 5 月・6 月のサービス利用状況 (小規模・グループホーム)
- ・ まことでのサービス内容、行事等 (小規模・グループホーム)
- ・ 利用者ご家族様からの声
- ・ 5 月・6 月の事故報告について
- ・ 地域包括支援センター様からの声

4 質疑応答 (意見交流)

5 その他

- ・ 小規模多機能
- ・ 町内会活動、地域交流への参加について
- ・ 今後の活動 等

(2) 事業運営報告

■ 5～6 月の介護度別サービス利用状況

(5 月 31 日・6 月 30 日付)

要介護	5月 小規模	6月 小規模	5月 グループホーム	6月 グループホーム
要支援1	2名	2名		
要支援2	0名	0名	0名	0名
要介護1	4名	4名	1名	1名
要介護2	11名	11名	2名	0名
要介護3	4名	4名	7名	7名
要介護4	3名	4名	4名	5名
要介護5	3名	3名	4名	4名
計	27名	28名	18名	17名

西崎：6月は解約者がいましたので人数に変更がありました。

柴田：5月には満床となり、要介護の変更もあり2の方が4に変更となっています。

6月は2名退去、1名入居となっています。17名で1名少ない形で末日を迎えています。

■ 小規模まことでのサービス内容・行事等

・5月4日 まこと工作 毛糸で鯉のぼりを作ろう！ 13名参加

西崎：トイレットペーパーに毛糸を巻き付ける等の工程を2時間かけて作成しました。

・5月16日 お花見ドライブ 12名参加

・5月17日 お花見ドライブ 6名参加

西崎：人数に差がある理由は利用者様の体調や利用状況で差が出ています。別保公園に行き、桜を観てきました。天気が悪い日もあり「これも風情だね」と前向きな発言もありました。

・5月26日 まことクッキング～桜色カステラを作ろう！ 6名参加

西崎：桜色に着色した生地をホットプレートで焼いて食べています。

・6月3日 アップルパイ&ミートパイを作ろう 10名参加

西崎：ホットプレートで焼き美味しく頂きました。

・6月22日 まこと大運動会 20名参加

西崎：2Fフロアの障害物をなくしスペースを広くして、職員が企画した種目に挑戦しています。一番はけがをしないようにと考え工夫した中で楽しまれていました。

・6月7日 愛国浄水場見学 12名参加

・6月29日 愛国浄水場見学

西崎：浄水場の方が市の職員で、大人数で行ったのにも関わらず協力的に動いて下さいました。段差があり重い車いすの方は、スロープが無いいため男性職員が持ちあげる事もありました。

■グループホームまことでのサービス内容・行事など

柴田：暖かくなってきたため。屋外の活動を増やしております。

- ・ 5月 3日(火) ナルクボランティア
- ・ 5月 8日(日) ドライブ
- ・ 5月 12日(木) お花見ピクニック (1F)
- ・ 5月 13日(金) お花見ピクニック (1F)
- ・ 5月 18日(水) お花見ピクニック (2F)・ふわりにてフラダンスに参加
- ・ 5月 19日(木) お花見ピクニック (2F)

柴田：4日間に分けて行った理由は、GHでは歩行できる利用者様が4名の方しかいません。他15名の方は車いすです。屋外に安全に連れ出すとなると、1回では難しく安全を考えると1対1か1対2で職員が配置していないと事故に繋がる可能性があります。皆さんが安全に楽しめるように4日間の日程を組んでいます。

- ・ 5月 24日(火) 誕生会 (外食～舞鶴)
- ・ 5月 26日(木) 誕生会 (外食～山水園)

柴田：本人の誕生月に食べたいものやゆかりのある店にスタッフやご家族様と一緒に行き外食をしています。

- ・ 5月 30日(月) 父・母の日のお祝い

柴田：GHまことは男性利用者様が2名しかおりません。なので、母の日・父の日の中間日に合同で行いました。

- ・ 6月 7日(火) 外食と散策 ポスフルのフードコート・ナルクボランティア

柴田：1Fの台所シンク下に工事が入る事になりました。食事の準備が出来ないので、1F利用者様と一緒にポスフルに行きました。この日は「好きなものを、好きなだけ食べて下さい」としていました。女性の利用者様が多く、食品サンプルを見る度に「あれも食べたい」「これも食べたい」と食べたくなくなってしょうがない様子でした。食べきれない量と把握してはいましたが、予算をはるかに超えて楽しんできました。その後はアイスを食べ、ポスフル内を散策して帰ってきました。

- ・ 6月 10日(金) 三味線ボランティア
- ・ 6月 21日(火) フルート演奏会
- ・ 6月 23日(木) 日本舞踊鑑賞会
- ・ 6月 29日(水) 誕生会 (外食～伊予製麺と31アイスクリーム)
- ・ 6月 30日(木) ドライブ

日常の家事の手伝いやシルバー作品展へ向け作品作りなども随時行っています。

■利用者ご家族からの声

小規模

- * 母に何かあった場合のご対応、いつも有難うございます。目の行き届かないところで助けて頂けるので、とても助かっております。(N.S様 家族より)

西崎：利用開始から5年が経つ方です。お会いする度にこのような言葉を掛けてくれます。

* 初めての小規模多機能の利用で緊張していますが、家も近くで個別に運動もしてくれるのでこれからの利用が楽しみです。(E.O様 ご家族様より)

西崎：5月から利用されている方です。前は老健施設でデイジービスを利用されていました。しかし、老健では距離が遠く、当事業所が近かった事から通いを週3回利用されています。本人は右脳梗塞・左麻痺で麻痺は軽くりハビリを行ってれば改善・維持できる方です。杖を使わず独歩で歩かれており、天気によっては躓きやすくなる事もあるため見守りを行っています。

* 時折、利用時の昼食と夕食が重なるので、事前にメニューがわかれば助かります。(Y.N様 本人様より)

西崎： 質疑応答の方でご説明させていただきます。

グループホーム

* やっぱりホームで言われた通り、骨折してました。1回目の受診の時に折ったんだね。(S様 ご家族様より)

柴田：この方は80代後半の女性で持病に骨粗鬆症を持っており、他ペースメーカーも入っています。定期受診のため家族様とある病院に行き、何事もなく帰ってきた日の夕方から原因不明の腰の痛みの訴えがあり、その痛みは悪化していきました。痛みの箇所には赤みも出て来て、本人の痛さの強さ加減と動けない様子を見て評価をしていくと骨折しているのではないかという見解になりました。しかし、家族様に話をすると転んではいないとの事でした。レントゲンを撮る時に背中が曲がっている方のレントゲンは、背中をまっすぐにするため少し押すんです。思い当たるとしたらその時位しかないと話がありました。ホームの方から要請し整形外科に受診してもらった際は、問題なく痛み止めだけ処方されました。しかし、痛みが原因で起きられない、眠れない、食事が摂れない、トイレに行けたはずがすべて失禁になってしまった事もあり、再度受診をお願いしました。その時には「骨折しています。転ばせましたか？」と医者に言われたそうです。家族様と「もしかしたら・・・？」と話をしていたので「ホームさんの言う通り折れてたね」という事からこの発言になりました。

* やっと落ち着ける所が決まり安心しています。食事が美味しいって話してました。元気そうで安心します。(S様 ご家族様より)

柴田：この方は先月入居された方の家族様です。この方は在宅で生活されていて、家での介護は難しくなってきたのでショートステイを組み合わせ利用されていました。この時には定住できる所がない状態であり、利用に繋がった方です。

* 私が荷造りするって言ってるんだから、触らないで下さい。ほんと、余計な事してくれるんだから。(K様 娘様より)

柴田：かなり怒られてしまいました。この方は家族様関係が上手くいっていない方です。K Pの方は釧路市の仙鳳趾に住んでおり、この娘様と折り合いが上手くいっていません。娘様は釧路外に住んでいる方で「自分の住んでいる市町村の施設で見てもらいますから、解約します」との話がありました。家族様で話し合いの結果であれば止める理由がないため支度をして待っていました。干してあったバスタオルを畳んで入れた事が面白くなかったみたいで「昨日干してあったバスタオルどこにいたの！私が荷造りするって言っているんだから触らないでちょうだい！」とお叱りを退去当日に受けました。

* (退去後に K P 以外の上記の娘より何度か電話あり)

次にまた文句を言ってきたら警察に相談するって言ってやって。前に居た所でも、まことさんに移った後に文句の電話が何度もいってみたいで。だから前の事業所からうちに (K P) 再三、苦情の電話が掛かってきてたんだわ。今は釧路外に行っちゃったから、文句を言う対象がまことさんに移ったのかもしれないな。良くしてもらったのに、本当に何から何まで申し訳ない。(K 様の K P 様より)

柴田：利用解約のため書類手続きの為に来所した際の話です。本人様が退去した後に他の娘様・息子様からホームに電話がありまして、苦情をいれては切るという事がありました。K P にその報告をした際にこの言葉がありました。その後は電話が来ていないため、新たに対応するという取り組みはしていません。

西 崎：皆さんからご意見を頂きたいのですが・・・山田先生からお願いします。

山田様：色んな方がいらっしゃいますから、ノイローゼにならないようにしなければならぬですよね。頑張ってやっていってほしいなと思います。

西崎・柴田：ありがとうございます。

西 崎：西村様から何かありませんか。

西村様：子供に良い事も悪い事も言っています。前回のカキ騒動の方ですよね。でも一人でも家族が理解してくれたらいいですよ。これが救いですよ。

西 崎：登藤様お願いします。

登藤様：7月からお世話になっているんですけど、それまで大変だったんです。5年前に強迫性障害と診断されました。同じことを繰り返す、初期の方では家の中で暴れていました。刃物ではなく趣味のゴルフクラブなどが近くにありましたから、それを手に持ち朝起きて目に入った物を壊していました。叩き処分するように言っていました。手に負えず日赤病院を受診し診断を受けました。手を洗う、服を着るなど同じことを何十回も繰り返す病気だと言われました。入院をするんですが、退院しても3週間くらいで元に戻ってしまい、その都度入院・退院を繰り返していました。今思えば殺しかけてしまった事もあり、首を絞めたり、お風呂に沈めてしまったりなどもありました。友達や家族に言われ病院に入院してもらい、病院の方から紹介を受けてまことでお世話になっています。私も本人も落ち着けて

います。

柴田：そう言ってもらえると安心します。

登藤様：今後も宜しくお願いします。

柴田・西崎：こちらこそ宜しくお願いします。

木田様：この度7月3日に1階に降り、転倒し骨折をしてしまいました。大腿骨が折れており5日には市立病院で手術をしました。順調に回復し、チューブも取れました。本人は表情が暗く、昼夜逆転しているようです。病院からは早いところ退院してほしい口ぶりで言われています。戻ってきたときはよろしくをお願いします。皆さんにお見舞いに来てもらい感謝しています。

西崎：スタッフ側もないと寂しいという声があり、本人の様子を聞く声が多いです。様子を見に行った時は気落ちをしていたので、スタッフには合間をみてお見舞いに行くように話をしています。最後に包括さんからお願いします。

高橋様：毎日認知症の相談は電話で受け家庭訪問をしたり、SOSの連絡が来たりしています。施設・病院に繋がれば御の字なんですが、そこまでいかない人が多く家族様だけでなく近隣の方も悩んでいる現状です。どのようにアプローチするのが良いのか悩みながら相談を受けています。施設に入り見守られ安全・安心で過ごせるという事が恵まれた事なのだと思います。しかし、そうではない方やお金がない方も多くいられます。在宅で暮らしていけるのか、それをどうサポートするのかと課題があり、一人ひとり認知症に対する意識普及啓発を進めていって、サポーターを増やしてGHや小規模のスタッフと共に地域の方へ認知症の方と一緒に支えていきたいと思います。と普及啓発して行きたいと思います。

西崎：小規模を利用している方も包括さんから紹介を受けまして、通いから始めています。普段認知が高い方ですが、在宅生活が成り立っている理由は近くに美容師さんがおり、家族ぐるみの付き合いをしていたり、隣の方も体調は悪いところもあるんですが様子を見に行ってもらっており地域で支えて小規模を利用しています。万が一の時には小規模・GHへとつながりを持つと包括さんの方で動いてくれているケースもあります。

■5月・6月の事故報告について

	小規模 5月	小規模 6月	GH 5月	GH 6月
アクシデント	0件	0件	0件	0件
インシデント	2件	4件	3件	1件

ヒヤリハット	2件	2件	7件	3件
--------	----	----	----	----

西 崎：先ほどの木田様の件は7月での報告となりますので割愛させていただきます。ヒヤリハットは職員の方で気づき未然に防げたものが2件あり、薬の組間違えと普段歩くのは困難な方が歩いておりフラフラとしていたというケースです。インシデントでは部屋に行くとき座っており、本人に聞くと「車いすからずり落ちたんだ」という事があり、様子観察となったのが2件ありました。あとはトイレ誘導の際に恰幅の良い方の介助で、本人と家族の要望で「立って行ってほしい」と話がありました。しかし、スタッフ1~2人だと難しく、ヒザ折れをする方なので1人では支えきれなく座ってもらったという内容がインシデントとして2件ありました。他に薬の提供時間遅れ4件挙がっています。

柴 田：インシデントは、居室内でズボンを取り換える際に座り損ねて床に座り込んでしまった件が2件ありました。ヒヤリハットでは普段は車いすを使用しているが、居室に戻ると歩きたくなる方がおりベッドから足を下ろすとセンサーが鳴るようにし、すぐ駆け付けられるように対応していました。しかし、動きが俊敏でセンサーが鳴って居室へ向かう頃には扉の前まで歩いてきていました。難病指定がある目の病気になっていて、視野が狭くなり暗くなっている方のため転んでしまう可能性がありました。元々リビングから遠い部屋だった為、近くの部屋に変更して目視とセンサーで気づけるようにしました。他には通常入浴前には血圧を測定していますが、その日は平日で看護師が測定したであろうと思い込んでしまい確認せず入浴してしまった事や薬をセットする際に薬の袋が破れてしまった事が挙がっています。

■ 地域包括支援センター様からの声

高橋様：今月の末に会議を行う予定です。内容としましては地域の町内会や民生委員、社会福祉協議会や市役所の方と一緒にこのエリアで、一人ひとりつながりを作り支え合って暮らしていきましょうという会議です。開催は7月27日で、通知はひょうたん通信でだと思われます。

4 質疑応答（意見交流）

小規模多機能型居宅介護まこと：外部評価結果報告

西崎：外部評価実施しました。今年から介護保険法の改正があり、今まではナルクという第三機関に依頼し評価をしてもらっていましたが、内部で実施する事になりました。結果は運営推進会議内で発表する事となっています。評価をするのは大町事務所の事務員です。本日配りました資料はインターネットで開示されます。47項目あり、順次に自己評価・外部評価をしていきます。理念の共有「地域密着という意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員はその理念を共有して実績につなげているか」という内容では、自己評価は「毎朝ミーティングで出勤者全

員で会社理念を唱和し、理念に基づいた介護職員の介護指針を掲示している」と挙げさせてもらっています。外部評価では「法人理念と事業所の独自の理念を掲げて、毎朝ミーティング時に唱和する事で職員の理解と意識付けをしている」と評価を受けています。課題もあり「職員の休憩室にも法人理念と施設理念を掲げると個人の質の向上につながるのではないかと」挙げられています。災害対策では「火災や地震、水害などの災害時に昼夜を問わず利用者が避難できるよう、避難方法を全職員が身に着けると共に地域の協力体制を気づいているか」とあります。自己評価は「協力を得て避難訓練を年 2 回行っている。災害にあった場合は物品等の準備をしている」と評価しています。外部評価は「隣接しているGHと共に、消防署の指導のもと夜間想定を含む避難訓練を年 2 回実施。消火器の使用方法や防火用の絨毯であるか確認を受けている。自然火災等のため備蓄品を用意している」と挙げられており、課題は「家族様・地域の参加がほとんどありません。運営推進会議を通して呼びかけが必要ではないか」と挙げられています。

続きまして、食事を楽しむことができる支援「食事が楽しみなものになるよう、一人一人の好みや力を生かしながら利用者と職員と一緒に準備・片付けをしている」。自己評価は「食事は一人一人の身体状況を把握し、職員と一緒に同じものを食べている。畑から収穫した野菜などを調理しています。」とあげ、外部評価では「一人一人の身体状況や好みを把握し、調理担当者が希望を取り入れながら職員と一緒に食事を摂り、季節のメニューなどを取り入れ工夫している」。課題は「家族様アンケートにあった「メニューを教えてほしい」という声から、通いの利用者様に対しての食事について知らせが出来るように期待している」となっています。課題に対して自己目標を立てる項目もあり 6 月から実施しております。1 つ目は「休憩室に理念を掲げるなどし、職員は休憩中にも個人の質の向上に繋がる」として休憩室に理念を作成し掲げ済みです。2 つ目は「町内会・民生委員・婦人部など直接出向き、地域住民への協力を依頼する。家族様へは運営推進会議や面会時にお願ひし、参加を呼びかける手紙を発送する。」とし 8 月中に実施予定です。3 つ目は「月別の献立表を作成し、配布する。調理職員と相談のもと献立表を作成し郵送する」としています。しかし、調理員はその日によってメニューも変わる事があるとの言い分があり、通いの利用者は手帳を持って来ているので、その手帳にメニューを記載しお知らせしています。これについての評価はまだですので、今後評価していきます。最後に家族様からの言葉を読ませて頂きます。事業所の良い点「中々出向く事が出来ませんが、行った際には皆さん明るく声を掛けて頂き叔父の様子も元気に明るくなっていて安心しています」「私は毎月まこと通信を楽しみにしています。周辺症状と生活障害という話はもっと早く知りたかったです。私と母の事が書かれているようでした。最初は入居させた事にほんとうに良かったのかと自分を責めましたが、母の症状をみると安心しています。これからもよろしくお願ひします」「温かい雰囲気を感じられ、細めに連絡をくれる」「通いの迎えに来てくれた際に、女性職員さんから名前を名乗ってくれました。日頃お

世話になっていても名前を知る機会がありませんので、自ら名乗ってもらえると親しみを感じ事業所と利用者との関係も良くなるのではないかと感じました」「職員が利用者に対して気配りが良く、いつも笑顔が絶えない。一人一人の心の状態に合わせて、礼に始まり礼に終わる心構えが優れています。」もう一つは改善点について「3食の献立の栄養バランスについて知りたいです」という要望がありましたが、現在栄養士がいないため検討中です。「昼食と夕食が同じ事があります。できれば献立表を作成してほしいです」という希望には色々と考えています。

5 その他

- ・ 今後の活動について

(小規模多機能)

7月 5日(火) 工作 七夕飾りを作りましょう

7月 12日(火) 13日(水) 初夏の釧路を楽しもう

西 崎：愛国の運動公園にいています

7月 27日(水) クルーズ船を見に行きましょう

西 崎：西港にくる情報があるため、そこに行く予定です。

8月 6日(土) 第6回 まこと祭り

8月 9日(火) まこと工作～シルバー作品展・作品作り

西 崎：シルバー作品展はまだ未定ですが、実施予定です。

8月 23日(火)、8月 24日(木) 北海道新聞社の見学に行きましょう

※8月 防災訓練開催予定。

(グループホーム)

7月 お誕生会・焼肉レクリエーション・ナルクボランティア

8月 お誕生会・まこと祭り・花火会

柴 田：まこと祭りでは大きな音でご迷惑をかけるとは思いますが、宜しく願います。他毎年盆踊りに参加させて頂いておりましたが、今年は車いすの方が多く調整が難しい為、参加できず申し訳ございません。来年にはまた、参加できるように取り組んでいきますので、宜しく願います。他、シルバー作品展への出展に向け、現在製作中です。

柴 田：この場をお借りして一点、報告があります。

ホームの利用者様で7月14日から発熱し、翌日には下がってまた上がる事がありました。最高で38℃でした。往診対応の方で先生にも相談し、祝日も絡んでいたため脱水疑いとして水分を多く取り様子観察となっていました。7月17日の日曜日に最高39.7℃まで上がり、緊急で医師を呼んだんですが担当医師が出張でいませんでした。1時間程で別の医師が来て対応してくれていたのですがホーム内での対応には限界があり、緊急搬送をかけることになりました。しかし、

その時に発生したGHの不備により家族様からご指摘受けました。内容としましては「緊急搬送をする場合に連絡する順番を決めていたのにも関わらず間違えていた」のが1点。本来であれば息子さん、職場、お嫁さんの順番でしたが、息子様の携帯に繋がらなかったためお嫁さんに電話をしてしまいました。他には保険証を同行した職員が忘れてしまった事、2点目は個人別の情報を管理しているんですが、新旧の情報を一緒ファイリングしていました。職員が古い方の情報を伝えてしまった事の3点があげられています。書類に関しては18名分整備していきます。緊急時は何を持っていくべきか、保険証の保管場所、緊急時に何を伝えるべきかを今月中に整備する予定です。また次回に詳しく報告します。

西 崎：では以上をもちまして、運営推進会議を終わります。

次回開催予定日 平成28年9月21日（水）14時 小規模まこと 2階リビングにて開催